

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材		
理科・化学基礎	2	2	高校化学基礎 (実教出版)	なし		
目標		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。		観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
評価	<ul style="list-style-type: none"> 定期考查や小テスト、観察・実験の記録、計算問題の解答状況などの結果を用いて、「知識・技能」および「思考・判断・表現」を評価する。 授業における観察・実験への取組、データの処理・考察の姿勢、課題への取組状況から、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 					
学期	学習内容（単元）	到達目標				
1	1節 物質の探求 2節 物質の構成粒子 1節 イオン結合 2節 共有結合と分子間力 3節 金属と金属結合 4節 化学結合と物質	<ul style="list-style-type: none"> 実験の心得や基本的な手順を理解し、適切に実践できる。 物質の加工や利用について人間生活との関わりを捉えており、単体・化合物・混合物の違いや分離・精製、元素の確認などを通して物質の性質や探究の方法を理解している。 原子の構造や粒子の性質、電子配置と周期律の関係、粒子の熱運動や状態変化について理解している。 化学結合の種類や結晶の分類、組成式のつくり方と命名法について理解し、それぞれの性質を捉えている。 				
2	1節 物質量と化学反応式 2節 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> 原子量・分子量・式量および物質を構成する粒子の個数について理解している。 物質量やモル濃度について理解しており、計算ができる。 化学反応式を用いて化学変化や物質の量的関係を表現・理解している。 酸・塩基の性質や反応、pH や中和反応、滴定の原理とその意義について理解しており、関連する計算や反応式を説明できる。 				

3	3章 物質の変化 3節 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none">酸化還元反応の定義や酸素・水素・電子の授受、酸化数の求め方とその変化について理解している。酸化剤・還元剤の性質とその反応が酸化還元反応であることを理解している。金属のイオン化傾向と反応性の関係を捉えており、電池のしくみや原理についても理解している。
---	-----------------------	--